

施策評価シート

施策の体系図

基本目標	施策の方向	施策・事業名	頁	担当課
基本目標1 地域包括ケアシステムの深化・推進	1-1 介護予防の充実	①介護予防教室	1	高齢者福祉課
		②いんざい健康ちよきん運動	2	
		③介護支援ボランティア	3	
	1-2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築	①医療・社会資源の把握	4	高齢者福祉課
		②在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議	5	
		③地域住民への普及啓発	6	
		④医療・介護関係者の連携推進	7	
		⑤地域ケア会議の推進	8	
	1-3 認知症施策の推進	①認知症ケアパスの作成	9	高齢者福祉課
		②認知症カフェ	10	
		③認知症サポーター養成	11	
		④初期集中支援チームの設置	12	
		⑤認知症周知啓発事業	13	
		⑥成年後見制度の利用支援及び促進	14	
	1-4 生活支援サービスの充実	①介護予防・日常生活支援総合事業の展開	15	高齢者福祉課
		②生活支援サービスの体制整備・充実	16	
	1-5 高齢者にふさわしい住まい環境の充実	①高齢者向け住宅整備状況の周知	17	高齢者福祉課
		②バリアフリー化の推進	18	
基本目標2 高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	2-1 健康づくりの推進	①健康教育、健康づくりの普及・啓発	19	健康増進課
		②健康相談・訪問指導	20	
		③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	21	
		④糖尿病性腎症重症化予防事業	22	
		⑤各種健(検)診と保健指導の実施	23	
	2-2 生きがいづくりと社会参加の推進	①学習機会の提供	24	生涯学習課
		②生涯スポーツの充実	25	スポーツ振興課
		③就労機会の提供	26	高齢者福祉課
		④高齢者クラブの支援	27	
		⑤交流活動の充実	28	
	2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	①緊急通報装置設置等サービス	29	高齢者福祉課
		②紙おむつ給付サービス	30	高齢者福祉課
		③配食サービス	31	
		④福祉カー貸付	32	
		⑤外出支援サービス	33	障がい福祉課
		⑥福祉タクシー	34	高齢者福祉課
		⑦低所得利用者負担軽減対策事業	35	
	2-4 安心・安全なまちづくり	①避難行動要支援者避難支援	36	社会福祉課 他
		②救急医療情報キット配布事業	37	高齢者福祉課
		③緊急情報等の提供に関する高齢者等地域見守り支援	38	障害福祉課
④民生委員による見守り活動		39	社会福祉課	
⑤SOSネットワーク		40	高齢者福祉課	
⑥高齢者虐待防止ネットワークと高齢者虐待への対応		41		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-1-①
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向1-1 介護予防の充実	
施策・事業名		①介護予防教室	
施策の対象者		65歳以上の介護認定を持っていない方	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者が要介護状態になることを予防するため、運動指導、口腔機能の向上、栄養改善、社会参加促進のプログラムを総合的に実施する教室です。参加者が自らの目標を持ち、達成や実現に向けて心身機能の向上や介護予防に取り組めるよう意識の向上を図り、地域活動等への社会参加や健康づくりの啓発を行います。	
	現状・課題	コロナ禍の影響もありましたが、定員に満たない現状があり、実施方法の変更や、認知症予防に限定しない内容の実施等、事業評価を行いながら実施してきました。教室終了後は、地域活動へのつながりや、参加者同士の交流ができる等の事業効果はあるものの、より多くの対象者に介護予防を普及・啓発するには至っていないと考えられます。	
	今後の方向性	課題を踏まえ、これまでの事業内容や実施形態を見直します。地域包括支援センター等と情報共有を行い、事業評価を行いながら、地域の実情に合わせた事業を展開していきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
参加実人数（人） ※各年度末時点	目標値	20	75	75	75
	実績値	21	93		
	乖離率	4.8%	19.4%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	教室終了後、地域活動へのつながりなど事業の効果が確認され、具体的には参加実人数の増加が見られました。一方で、実施会場によって参加者数にばらつきがあるため、より多くの対象者に介護予防を普及・啓発する上での課題が浮き彫りとなっています。				
今後の取組	参加者からのアンケート結果をもとに、内容と周知方法の検討を行うとともに、地域の実情に合わせた実施会場の調整を図ります。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	令和5年度までの実施形態から大きく変更を行ったため推計を上回ったと考える。				
施策・事業の方向性	①	▼選択入力	▼選択入力		
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	拡大	維持	縮小		
	①	②	③		
	④	⑤	⑥		
	⑦	⑧	⑨		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-1-②
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 1 介護予防の充実	
施策・事業名		②いんざい健康ちょきん運動	
施策の対象者		市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	住み慣れた地域で顔なじみの人たちとの生活を維持することを目的に、地域住民が歩いて参加できる場所で主体的に筋力運動を行いながら、健康づくりや地域づくりを行います。	
	現状・課題	コロナ禍の影響があり、一時は参加実人数の減少や、グループ自体が活動を休止することがありました。休会している方への見守りや、活動を土台とした地域のつながりの強化が、今後の課題です。	
	今後の方向性	コロナ禍を機に、地域のつながりの必要性を感じている方が増えています。年齢や介護認定を問わず、集まることを目的とした健康づくり・地域づくりの場であることを踏まえ、高齢者人口の1割の参加を中長期での目標に、地域包括支援センターや自治会・民生委員等と引き続き連携を図り、広報やホームページにて周知・啓発を行います。また、見守り等を含めた地域の支え合い活動へ発展できるよう後押しを行っていきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
参加実人数（人） ※各年度末時点	見込み	1800	1900	2000	2100
	実績値	1412	1445		
	乖離率	-27.5%	-31.5%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組				
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	
事業評価及び課題	コロナ禍の収束後に活動を再開し、参加者同士のつながりは強化されています。課題として、指標の乖離率が大きいことが挙げられます。要因としては、関係機関との連携不足や効果的な周知方法が確立されていないことが、新規グループの立ち上がりや入会者数が見込みを下回る要因となっていると考える。			
今後の取組	これまでの地域包括支援センターとの連携方法や、事業の周知・啓発方法について、見直しを行うことを検討します。			
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	課題のとおり。コロナ禍による影響も踏まえ、第10期計画で、指標の見直しを図る。			
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力	
	規模(量)		【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	
	拡大	維持		縮小
費用	①	②		③
	④	⑤		⑥
	⑦	⑧	⑨	B

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-1-③
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向1-1 介護予防の充実	
施策・事業名		③介護支援ボランティア	
施策の対象者		高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者の介護予防のため、市内に居住する65歳以上の方を対象とし、介護保険施設等でのボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じて交付金を交付する制度です。	
	現状・課題	コロナ感染症を防止するため、施設等でのボランティアの受け入れを停止しているため、地域貢献を奨励、支援できるボランティア活動の候補が見つからない状況です。	
	今後の方向性	外部からの感染症リスク等を避けるため、施設側がボランティア受け入れ停止の継続が考えられるため、その他のポイントを付与できるボランティア活動を考える必要があります。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ボランティア登録者数（人）	見込み	100	55	60	65
	実績値	54	57		
	乖離率	-85.2%	3.5%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																			
事業評価及び課題	ボランティアの受け入れを停止している施設があるため、地域貢献を奨励、支援できるボランティア活動が見つからない。																					
今後の取組	コロナ禍以降は施設側がボランティア受け入れ停止を継続する施設も多く、ボランティア活動の機会が減少しているため、その他のポイントを付与できるボランティア活動を考える必要がある。																					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																						
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">規程(量)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		規程(量)					拡大	維持	縮小	費用	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
規程(量)																						
	拡大	維持	縮小																			
費用	①	②	③																			
	④	⑤	⑥																			
	⑦	⑧	⑨																			

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-2-①
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築	
施策・事業名		①医療・社会資源の把握	
施策の対象者		市民、医療・介護等の関係機関	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	住民の医療・介護へのアクセスを容易にし、医療・介護関係者の連携を促進するため、地域の医療・社会資源を把握します。	
	現状・課題	情報提供できる訪問診療可能な市内の医療機関が少ない状況が続いています。在宅療養を希望される方たちが、適切なサービスを切れ目なく提供されるための体制づくりが課題です。	
	今後の方向性	介護と医療サポートガイドを更新し、掲載されている医療機関については、市内の医療機関に限らず、市内への訪問が可能な近隣市の情報を把握し、掲載します。また、この冊子が支援機関の資料として活用されるだけでなく、必要とされるより多くの市民に活用していただけるよう内容の充実を検討します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護と医療サポートガイドの発行	見込み	配布・更新	配布	配布・更新	配布
	実績値	配布・更新	配布		
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																								
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																					
事業評価及び課題	情報更新した介護と医療サポートガイドを市内関係機関に配布を行い、情報提供や関係機関との連携促進につなげた。訪問診療可能な市内医療機関が少なく、適切なサービスを切れ目なく提供する体制づくりは課題です。																							
今後の取組	引き続き、介護と医療サポートガイドを住民、関係機関等に活用していただけるよう内容の充実を検討します。																							
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																								
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">規模(量)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	①	②	③		④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
規模(量)																								
	拡大	維持	縮小																					
費用	①	②	③																					
	④	⑤	⑥																					
	⑦	⑧	⑨																					

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課			1-2-②	
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進				
施策項目		施策の方向 1 - 2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築				
施策・事業名		②在宅医療・介護連携、認知症施策推進会議				
施策の対象者		在宅医療、介護、認知症対策の実施に係る関係機関				
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	地域の医療・介護関係者などが参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携や、認知症対策についての現状把握と課題の抽出、対応策などの検討を行っています。				
	現状・課題	在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出が充分ではない状況です。				
	今後の方向性	令和3年度から認知症初期集中支援チーム検討委員会と合併したため、認知症対策を含めた現状把握と課題を抽出し、計画に反映させた取り組みについて見直しを図っていきます。				
指標及び実績値						
指標名 (単位)		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療・介護連携推進会議開催 (回) ※各年度末時点		見込み	3	3	3	3
		実績値	3	3		
		乖離率	0.0%	0.0%		
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				
事業評価と今後の取組						
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)			
事業評価及び課題	会議開催において、在宅医療・介護の連携や、認知症施策に関する事業に対する評価をしながら、その意見を在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業に反映させていきます。					
今後の取組	令和3年度から認知症初期集中支援チーム検討委員会と合併したため、認知症対策を含めた現状把握と課題を抽出し、計画に反映させた取り組みについて見直しを図っていきます。					
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由						
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
	規模(量)		【施策の総合評価】			
	拡大	維持	縮小	評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」		
常用	①	②	③			
	④	⑤	⑥			
	⑦	⑧	⑨			
				A		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-2-③
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築	
施策・事業名		③地域住民への普及啓発	
施策の対象者		市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	地域住民（本人や家族）が、在宅での医療や介護について理解し、自分自身で選択することができるように、講演会等の開催や情報提供媒体の作成による情報提供等を行い、普及啓発活動に取り組んでいます。	
	現状・課題	在宅療養を希望する方たちだけでなく、より多くの市民が在宅医療・介護について理解を深め、在宅療養については、その見通しや必要な心構えを知っていただき、自分で選択することができるようになることが課題です。また、看取りのテーマを含めた周知も課題です。	
	今後の方向性	在宅医療や介護について、より多くの市民の理解を深めるための講演会を開催します。また、介護と医療サポートガイドは、在宅医療と介護についてよりイメージしやすく活用される内容を検討し、引き続き、ホームページ掲載や講演会などで周知を行います。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
講演会等の開催 ※各年度末時点	見込み	1	1	1	1
	実績値	1	1		
	乖離率	0.0%	0.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																
事業評価及び課題	「自宅看取り、施設看取り」市民講演会を開催して、在宅医療や介護の普及啓発に努めた。より多くの市民が在宅医療・介護について理解を深め、自分で選択できるようになることが課題です。																		
今後の取組	引き続き、在宅医療や介護について、講演会を開催していき、住民への普及啓発活動に取り組んでいきます。																		
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																			
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		規模(量)			拡大	維持	縮小	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
規模(量)																			
拡大	維持	縮小																	
①	②	③																	
④	⑤	⑥																	
⑦	⑧	⑨																	

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-2-④
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築	
施策・事業名		④在宅医療・介護関係者の連携推進	
施策の対象者		医療・介護等の関係機関	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	医療・介護関係者の知識の向上と相互の役割の理解を深める研修会を企画し、在宅医療・介護連携の円滑化を図ります。	
	現状・課題	医療・介護関係者の知識の向上と円滑な連携強化を図るために、多職種でそれぞれの役割などについて共有したり、知識を習得するなどについての強化が課題です。	
	今後の方向性	在宅医療・介護連携に関する課題が生じた際、関係機関からの相談先を高齢者福祉課とします。また、より多くの職種が参加して知識を習得し、顔の見える関係を構築することができるよう、研修の内容についても検討し連携を推進します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
連絡会・研修会の開催 ※各年度末時点	見込み	2	2	2	2
	実績値	2	2		
	乖離率	0.0%	0.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	医療・介護関係者の知識の向上と円滑な連携強化を図るために、多職種でそれぞれの役割などについて共有したり、知識を習得するなどについての強化が課題です。				
今後の取組	引き続き、より多くの職種が参加して知識を習得し、顔の見える関係を構築することができるよう、研修の内容についても検討し連携を推進します。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力		
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	拡大	維持	縮小		
	①	②	③		
	④	⑤	⑥		
	⑦	⑧	⑨		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-2-⑤
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向1-2 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築	
施策・事業名		⑤地域ケア会議の推進	
施策の対象者		市民、関係機関	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	多職種が協働し、個別ケースの支援のために実務者レベルの地域ケア会議を開催するとともに、そこで蓄積された最適な手法や把握した社会資源・地域課題を、関係者と共有・検討するために、市レベルの地域ケア会議を開催します。	
	現状・課題	圏域全体での、地域課題の発見につながる個別課題の分析までには、至っていません。それぞれの地域ケア会議が独立してしまわないように、個別課題から地域課題を抽出し、市全体での課題解決につなげるためのシステムづくりが課題です。	
	今後の方向性	地域包括支援センターと連携し、引き続き、地域思いやりケア会議、自立支援型地域ケア会議で個別ケース検討を行い、個別ケースから浮かび上がった地域課題を各圏域でも共有し、地域ケア推進会議を踏まえた、市レベルの印西市地域ケア会議を開催します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市レベルの地域ケア会議の開催 ※各年度末時点	見込み	1	1	1	1
	実績値	1	1		
	乖離率	0.0%	0.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																								
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																					
事業評価及び課題	圏域全体での、地域課題の発見につながる個別課題の分析までには、至っていません。それぞれの地域ケア会議が独立してしまわないように、個別課題から地域課題を抽出し、市全体での課題解決につなげるためのシステムづくりが課題です。																							
今後の取組	引き続き地域包括支援センターと連携し、地域思いやりケア会議、自立支援型地域ケア会議で個別ケース検討を行い、個別ケースから浮かび上がった地域課題を各圏域でも共有し、地域ケア推進会議を踏まえた、市レベルの印西市地域ケア会議を開催します。																							
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																								
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)			拡大	維持	縮小	専用	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	規模(量)																							
	拡大	維持	縮小																					
専用	①	②	③																					
維持	④	⑤	⑥																					
縮小	⑦	⑧	⑨																					

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課	1-3-①
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 3 認知症施策の推進	
施策・事業名		①認知症ケアパスの作成	
施策の対象者		市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	認知症の人やその家族が安心して生活できるよう、また、認知症の人やその家族に医療・介護サービスが切れ目なく提供されるよう、標準的なケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）を作成し、普及を図っていきます。	
	現状・課題	認知症ケアパスが、よりわかりやすく、当事者や家族がサービス提供の流れを理解し、安心できる内容にする必要があります。そのため、当事者や家族の意見を反映させることが重要ですが、当事者の思いや意向を十分に取り入れることができていない状況です。	
	今後の方向性	当事者や家族の意向を反映させ、よりわかりやすい内容となるよう、認知症地域支援推進員等との連携を持ちながら検討を重ねます。	

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症ケアパス	見込み	配布	配布・見直し	配布	配布・見直し
	実績値	配布	配布		
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組			
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
事業評価及び課題	認知症ケアパスは、よりわかりやすく、当事者や家族がサービス提供の流れを理解し、安心できる内容にする必要があります。そのため、認知症地域支援推進員と検討を重ね、本人用ケアパスを作成しました。現在作成しているケアパスが、誰に、どのようなタイミングで利用され、役に立っているかを検証していく必要があると考えます。		
今後の取組	引き続き内容を検討しながら作成を続けていく。また、ケアパスおよび本人用ケアパスの活用状況について把握を行う。		
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由			
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力

		規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		拡大	維持	縮小		
費用	拡大	①	②	③		
	維持	④	⑤	⑥		
		縮小	⑦	⑧		

担当課（担当部署名）	高齢者福祉課	1-3-②
基本目標	地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目	施策の方向1-3 認知症施策の推進	
施策・事業名	②認知症カフェ	
施策の対象者	認知症の人・家族・専門職・地域住民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	認知症に対する理解促進や家族支援に向けて、認知症の人・家族・専門職・地域住民など誰もが参加でき、気軽に集う「認知症カフェ」を開催します。
	現状・課題	認知症カフェは、当事者、家族、地域住民、支援者等が集い、交流することで認知症に対する理解を深める目的で開催していますが、当事者や家族の参加が増えていない状況です。当事者の意見を聞くことができる場でもあるため、当事者や家族の参加が増えるようにする必要があります。
	今後の方向性	当事者や家族の意向を反映させ、よりわかりやすい内容となるよう、認知症地域支援推進員等との連携を持ちながら検討を重ねます。

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
参加人数（人）	見込み	430	440	450	460
	実績値	764	859		
	乖離率	43.7%	48.8%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	認知症カフェは、当事者、家族、地域住民、支援者等が集い、交流することで認知症に対する理解を深める目的で開催おり、当事者や家族の参加も少しずつ増えています。交流することで認知症への理解を深めることができる場でもあるため、当事者や家族の参加がさらに増えるようにする必要があります。				
今後の取組	当事者や家族が参加しやすいカフェについて地域包括支援センターと内容について意見交換を重ねます。また、カフェの周知を、居宅介護支援事業所等にも広め、参加者の増加を図ります。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力		
費用	規模（量）			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	拡大	維持	縮小		
	①	②	③		
	④	⑤	⑥		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-3-③
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 3 認知症施策の推進	
施策・事業名		③認知症サポーター養成	
施策の対象者		小学生以上の市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	認知症に対する正しい知識を持ち、身近なところにいる応援団として、認知症の人やその介護者をあたたかく見守り手助けする認知症サポーターを養成します。	
	現状・課題	認知症の人が安心して住める地域とするには、多くの人が認知症について正しい知識を持つことが必要であり、サポーターが増え続けるようにしていく必要があります。サポーターが実際の支援者となれるよう、職域や成人に対する講座を増やすことが課題です。	
	今後の方向性	小学校での実施を継続し、地域で支援者となる人材として、認知症サポーターを確実に増やしていけるよう、毎年の養成数を維持します。また、職域や地域の集まり等での、養成講座を実施できるよう、周知を積極的に行います。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成人数 （累計人数）※各年度末時点	見込み	11,000	11,150	12,350	13,550
	実績値	10,057	11,514		
	乖離率	-9.4%	3.2%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																											
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																								
事業評価及び課題	認知症の人が安心して住める地域とするには、多くの人が認知症について正しい知識を持つことが必要であり、サポーターが増え続けるようにしていく必要があります。サポーターが実際の支援者となれるよう、職域や成人に対する講座を増やすことが課題です。																										
今後の取組	小学校での実施を継続し、認知症サポーターを確実に増やしていけるよう、毎年の養成数を維持します。また、職域や地域の集まり等での、養成講座を実施できるよう、周知を積極的に行います。																										
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																											
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">費用</th> <th>拡大</th> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		規模(量)																									
		拡大	維持	縮小																							
費用	拡大	①	②	③																							
	維持	④	⑤	⑥																							
	縮小	⑦	⑧	⑨																							

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-3-④
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向1-3 認知症施策の推進	
施策・事業名		④初期集中支援チームの設置	
施策の対象者		認知症やその疑いがある市民とその家族、および係りのある専門職	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	適切な医療や介護サービス等の利用につながない認知症の人やその家族に早期にかかわる初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を図っています。	
	現状・課題	認知症の人の支援を行うケアマネなどが、初期集中支援チーム員から助言を受けて対応している案件や、地域包括支援センターの支援によって対応できている件数が増加しています。初期集中支援チームの介入も含め、最も適切な方法で対応を行います。	
	今後の方向性	必要時にスムーズな支援が開始できるよう、初期集中支援チームとの連携体制を維持するとともに、チームの存在や役割について、居宅介護支援事業所や医療機関などに周知を図ります。また、より効果的なタイミングで支援ができるよう、関係機関での支援の在り方についても検討を行います。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
初期集中支援チームの対応件数 （件） ※各年度末時点	見込み	10	10	10	10
	実績値	3	5		
	乖離率	-233.3%	-100.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題	認知症の人の支援を行うケアマネなどが、初期集中支援チーム員から助言を受けて対応している案件や、地域包括支援センターの支援によって対応できている件数が増加しています。医療機関や居宅介護支援事業所など、介護事業所や専門職の支援も行いますが、利用方法を知らないという人もいるため周知が必要です。					
今後の取組	初期集中支援チームとの連絡会などを行い、連携体制を維持するとともに、チームの存在や役割について、居宅介護支援事業所や医療機関などに周知を図ります。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	実績による					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模（量）				【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		拡大	維持	縮小		
	拡大	①	②	③		
	維持	④	⑤	⑥		
縮小	⑦	⑧	⑨			

担当課 (担当部署名)	高齢者福祉課	1-3-⑤
基本目標	地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目	施策の方向 1 - 3 認知症施策の推進	
施策・事業名	⑤認知症周知啓発事業	
施策の対象者	市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	認知症に対する正しい知識や支援の方法、認知症の予防などについて理解を深め、認知症の人を地域で支えるための基盤づくりとなるよう、周知啓発を行います。
	現状・課題	認知症についての興味は高まっていますが、地域の集まりが減少しており、集まって話を聞く機会が減少しているため講座の開催数を伸ばすことが難しい状況です。出前講座以外の方法で周知啓発を図る必要があります。
	今後の方向性	出前講座の実施については積極的に周知を図ります。並行して、広報紙やホームページの利用、認知症啓発を目的としたイベントなどを、認知症地域支援推進員との意見交換を重ねながら、検討し実施します。

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
出前講座「知って安心認知症予防」参加者人数※各年度末時点	見込み	60	60	60	60
	実績値	42	65		
	乖離率	-42.9%	7.7%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)			
事業評価及び課題	町内会などの地域の集まりが減少して、集まって話を聞く機会が減少しているため、講座の開催数を大幅に伸ばすことは難しい状況と考えていますが、講座の依頼数は横ばいであり、認知症に対する関心は高まっていると感じています。出前講座について周知啓発を図る必要があります。					
今後の取組	出前講座の実施について積極的に周知を図るほか、広報紙やホームページの利用、認知症啓発を目的としたイベントなどを実施します。					
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由						
施策・事業の方向性	①	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A	
	拡大	①	②			③
	維持	④	⑤			⑥
	縮小	⑦	⑧			⑨

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課・障がい福祉課・社会福祉課	1-3-⑥
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
基本目標（中項目）			
施策項目		施策の方向 1 - 3 認知症施策の推進	
施策・事業名		⑥成年後見制度の利用支援及び促進	
施策の対象者		市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者や認知症の人の増加が見込まれる中で、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、権利擁護を必要とする人を制度に結び付けるとともに、地域で被後見人等を支える市民後見人の養成に取り組み、支える側も支えられる側も、安心して生活できる体制を整えます。	
	現状・課題	権利擁護支援に携わる地域の支援者が少ないため、地域における権利擁護支援の受け皿が後見支援センターしかない状態です。成年後見制度を含む、権利擁護支援の支援者を増やしていくことが課題と考えています。また、制度の利用が必要な方を発見した際に、後見支援センターに適切に繋がれるように、関係機関との連携を強化していく必要があります。	
	今後の方向性	成年後見制度の利用促進が適切に図られるように、市及び後見支援センターの相談機能強化や制度の周知を継続的に行っていきます。また、（数年に1度）地域で被後見人等を支える市民後見人の養成を行い、地域で権利擁護支援に携わる支援者を増やしていきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
専門相職による相談会の相談件数	見込み	20	20	20	20
	実績値	13	18		
	乖離率	-53.8%	-11.1%		
個別相談の相談件数	目標値	36	36	36	36
	実績値	36	47		
	乖離率	0.0%	23.4%		
事業の段階的实施	事業内容	市民後見人養成講座開始、中核機関の設置	事業の推進	事業の推進	事業の推進
	実績値	後見支援センターで実施	後見支援センターで実施		
	乖離率				

事業評価と今後の取組																												
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																									
事業評価及び課題	権利擁護支援に携わる地域の支援者が少ないため、地域における権利擁護支援の受け皿が後見支援センターしかない状態です。成年後見制度を含む、権利擁護支援の支援者を増やしていくことが課題と考えています。また、制度の利用が必要な方を発見した際に、後見支援センターの適切に繋がれるように、関係機関との連携を強化していく必要があります。令和6年度は、後見支援センターを開設して2年目に入り、幅広く周知活動を行うことが出来た。個別の相談件数も増加傾向にあり、権利擁護支援が必要な方に対し、適切な制度利用に向けた支援が実施できた。																											
今後の取組	周知活動については継続して行い、センター及び制度の周知を図ります。また、市民後見人養成講座修了生が地域において活躍できるよう、センターと連携していきます。																											
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること	相談会については、令和5年度から実施している個別相談により、専門的な知識が求められる相談以外については個別の対応が可能になったため、相談会の利用者数が減ったものと考えられます。																											
施策・事業の方向性	⑤	⑤	⑤																									
	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">規模(量)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> <th></th> </tr> <tr> <th rowspan="3">費用</th> <td>拡大</td> <td>㊶</td> <td>㊷</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>㊹</td> <td>㊺</td> <td>㊻</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>㊼</td> <td>㊽</td> <td>㊾</td> </tr> </table>			規模(量)						拡大	維持	縮小		費用	拡大	㊶	㊷	㊸	維持	㊹	㊺	㊻	縮小	㊼	㊽	㊾	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
規模(量)																												
	拡大	維持	縮小																									
費用	拡大	㊶	㊷	㊸																								
	維持	㊹	㊺	㊻																								
	縮小	㊼	㊽	㊾																								

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-4-①
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 4 生活支援サービスの充実	
施策・事業名		①介護予防・日常生活支援総合事業の展開	
施策の対象者		関係機関、市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	介護予防・日常生活支援総合事業には、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・日常生活支援サービス事業があります。住み慣れた地域で生活を継続するために、要支援者等の状態に応じて選択ができるサービスの創生を目指します。	
	現状・課題	通所型サービスC（短期集中予防サービス）、訪問型サービスD（移動支援）の市独自サービスを実施しているところですが、受入人数や利用人数が少ないため、実施方法や周知に関し、今後も検討していく必要があります。市民や関係機関も含め、総合事業の主旨や自立支援の方向性について、共通認識が図れていない状況です。	
	今後の方向性	地域包括支援センターや生活支援コーディネーターと連携をしながら、市独自サービスの展開方法について検討していきます。関係機関や市民に対し、総合事業の目指す姿の共通認識が持てるよう、周知・啓発していきます。また、自分らしい生活が実現できるために、自分自身が何をしたいかを考え、自らが実現に向けて取り組めるよう、自立支援への啓発も行っていきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	見込み				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																							
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																				
事業評価及び課題	令和5年度に比べ、利用者数の増加がみられました。また、地域包括支援センターと連携し、自立支援を目指した支援を実施することができました。しかし、利用者数が安定しないことと、受け入れ先との調整に困難を伴うことがあります。																						
今後の取組	受け入れ先との調整が柔軟に行える体制を整備します。また、利用者数の安定化に向けて、地域包括支援センターと連携し、本サービスの効果検証結果を共有します。その上で、利用者の状態に応じて適切にサービスを勧めることができるよう、周知・啓発を図ります。																						
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	令和5年度からの施策のため見込みなし。																						
施策・事業の方向性	①	▼選択入力	▼選択入力																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">費用</th> <th colspan="3">規模（量）</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡大</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		費用	規模（量）			拡大	維持	縮小	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
費用	規模（量）																						
	拡大	維持		縮小																			
	拡大	①		②	③																		
	維持	④	⑤	⑥																			
縮小	⑦	⑧	⑨																				

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	1-4-②
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 4 生活支援サービスの充実	
施策・事業名		②生活支援サービスの体制整備・充実	
施策の対象者		関係機関、市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	住民主体の活動や社会福祉法人、NPO、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地縁組織などの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、地域の支え合いの体制作りを推進することを目指すものです。	
	現状・課題	個別支援を行うとともに地域課題の分析を行っている段階であり、具体的な地域での支え合いの体制づくりまでには至っていません。	
	今後の方向性	地域課題を分析し、具体的なサービスにつなげられるよう検討を進めていくとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進するために、生活支援サポーター養成講座を実施し、地域の担い手を育成していきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
サポーター養成講座修了生 ※各年度末時点	見込み	15	15	15	15
	実績値	10	14		
	乖離率	-50.0%	-7.1%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	生活支援サポーターは増加していますが、ボランティア登録をしても地域で活動している人は少なく、地域の担い手として活動できる体制を今後検討していく必要があります。また、地域包括支援センターと連携を密にし、個別支援の充実に努めました。				
今後の取組	生活支援サポーターが地域の担い手として活動しているよう体制を検討していきます。また、地域課題を把握し個別支援を行うため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等に生活支援コーディネーターの周知を行います。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力		
	規模(量)		【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	B	
	拡大	維持			縮小
費用	①	②			③
	④	⑤			⑥
	⑦	⑧	⑨		

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課	1-5-①
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 5 高齢者にふさわしい住まい・環境の充実	
施策・事業名		①高齢者向け住宅整備状況の周知	
施策の対象者		高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	日常生活に支援が必要な高齢者が安心して生活できるよう、施設整備状況を情報提供しています。	
	現状・課題	市内に介護付き有料老人ホーム2施設(定員113人)、住宅型有料老人ホーム1施設(定員84人)、サービス付き高齢者向け住宅5施設(戸数111戸)が建設されています。ただ、それらの整備状況を周知する必要があります。	
	今後の方向性	施設の整備状況を市民等に周知するとともに、サービス付き高齢者向け住宅などに対して、アンケート調査を実施し、施設の入所状況や待機者の人数などを把握することで、高齢者向け住宅等のニーズの把握に努めます。	

指標及び実績値					
指標名(単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入所状況や待機者の把握	見込み			実施予定	
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																								
	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)																					
事業評価及び課題	介護認定を受けていなくても入所可能な施設として、相談等で情報提供を行っている。 令和6年度、新規施設はない。																							
今後の取組	アンケート調査は令和7年度実施予定。																							
目標(推計)と実績の差が大きかった理由																								
施策・事業の方向性																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)			拡大	維持	縮小	常用	①	②	③		④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	規模(量)																							
	拡大	維持	縮小																					
常用	①	②	③																					
	④	⑤	⑥																					
	⑦	⑧	⑨																					

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課・都市計画課	1-5-②
基本目標		地域包括ケアシステムの深化・推進	
施策項目		施策の方向 1 - 5 高齢者にふさわしい住まい・環境の充実	
施策・事業名		②バリアフリー化の推進	
施策の対象者		高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者が安心して日常生活を送れるよう、住宅等のバリアフリー化の推進を図ります。	
	現状・課題	高層住宅や戸建住宅に住む人が高齢化した際、外出が困難との理由で、住み慣れた住宅での生活ができなくなることが無いよう、開発事業者には、バリアフリー化を要望しています。ただ、事業者の裁量によるところが大きいため、事業者により差が生じてしまうことが課題です。	
	今後の方向性	高齢者が安心して生活できる環境づくり推進のため、マンションや宅地の開発事業者に住宅等のバリアフリー化を引き続き要望をしていきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
係各課と連携照会に対する協議の実施（回）	見込み	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施		
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題	高層住宅や戸建住宅に住む人が高齢化した際、外出が困難との理由で住み慣れた住宅での生活ができなくなることが無いよう、開発事業者にはバリアフリー化を要望しておりますが、事業者の裁量によるところが大きいため、事業者により差が生じてしまうことが課題です。					
今後の取組	高齢者が安心して生活できる環境づくり推進のため、マンションや宅地の開発事業者に住宅等のバリアフリー化を引き続き要望をしてまいります。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由						
施策・事業の方向性	⑤					
費用	規模(量)				【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		拡大	維持	縮小		
	拡大	①	②	③		
	維持	④	⑤	⑥		
	縮小	⑦	⑧	⑨		

担当課（担当部署名）		健康増進課	2-1-①
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
基本目標（中項目）			
施策項目		施策の方向 2 - 1 健康づくりの推進	
施策・事業名		①健康教育、健康づくりの普及・啓発	
施策の対象者		市民	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	健康講演会や出前健康講座、各種集団教室等の様々な機会を活用して健康教育を実施します。一般的な健康についての教育や病態別、運動、食事等、健康課題に合わせた教育を実施します。	
	現状・課題	すべてのライフステージに対する健康づくりや、無関心層へのアプローチのありかたが課題です。	
	今後の方向性	市民が、自分や家族の健康に関心を持ち、日常生活の中で身体活動量が増えるなど、自然に、健康づくりに取り組める仕組みづくりを、目指します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題	健康教育の依頼、参加者数が昨年度より増加しました。別事業で行った講話をきっかけに依頼に繋がったケースもあったので、同様に健康意識の輪が広がるように取り組んでいきたい。無関心層へのアプローチのありかたが課題です。					
今後の取組	講座の内容の見直しや工夫をこらして取り組みます。市民が自分や家族の健康に関心を持ち、日常生活の中で身体活動量が増えるなど、自然に健康づくりに取り組める仕組みづくりを目指します。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること						
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模（量）			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A	
		拡大	維持			縮小
	拡大	①	②			③
	維持	④	⑤			⑥
縮小	⑦	⑧	⑨			

担当課（担当部署名）		健康増進課			2-1-②		
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現					
基本目標（中項目）							
施策項目		施策の方向 2 - 1 健康づくりの推進					
施策・事業名		②健康相談・訪問指導					
施策の対象者		市民					
9 期 計 画 掲 載 内	施策概要または事業の概要	健診の結果等について、栄養や歯科も含めた健康全般に関する相談を実施しています。市民のニーズに合わせ、面接、訪問、電話等で健康相談を実施しています。					
	現状・課題	健康相談の相談数は増加傾向にあります。個別医療機関でも健康相談のちらしを配布し、タイミングよく相談の機会を設けるなど市民のニーズに合った事業展開ができていていると考えられます。					
	今後の方向性	今後も工夫しながら、本人及び家族の健康の保持増進につながる行動の動機づけになるように助言を行い、市民のニーズに合わせて展開していきます。					
指標及び実績値							
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
事業評価と今後の取組							
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）				
事業評価及び課題	個別医療機関でも健康相談のちらしを配布し、タイミングよく健康相談の機会を設けるなど市民のニーズに合った事業展開が出来ていると考えられます。						
今後の取組	今後も工夫しながら、本人及び家族の健康の保持増進につながる行動の動機づけになるように助言を行い、市民のニーズに合わせて展開していきます。						
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること							
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力				
	規模（量）		【施策の総合評価】			A	
	拡大	維持	縮小	評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、			
費用	①	②	③	C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」			
	④	⑤	⑥				

担当課（担当部署名）		健康増進課	2-1-③
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
基本目標（中項目）			
施策項目		施策の方向 2-1 健康づくりの推進	
施策・事業名		③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	
施策の対象者		高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者一人ひとりに対し、フレイル等の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな保健事業を行うため、運動、口腔、栄養、社会参加等の観点から保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するものです。	
	現状・課題	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、ポピュレーションアプローチ※1として、いんざい健康ちょきん運動や講座の依頼を受けたグループに、フレイル予防や健康増進に関する正しい知識の普及及び意識付けを図ることや、必要に応じて健康相談及び受診勧奨、相談窓口の紹介等を行っています。5圏域で実施件数にばらつきがあります。ハイリスクアプローチ※2では、フレイルリスクや生活習慣病等の重症化リスクを有する後期高齢者のうち、希望者に対し保健指導を行っていますが、希望なしの人には支援ができていない状況です。</p> <p>※1 ポピュレーションアプローチ：多くの人々が少しずつリスクを軽減することで、集団全体としては多大な恩恵をもたらす事に注目し、集団全体をよい方向にシフトさせること。</p> <p>※2 ハイリスクアプローチ：健康リスクを抱えた人を抽出し、該当者に行動変容を促すこと。</p>	
	今後の方向性	ポピュレーションアプローチ※1では、様々な通いの場を活用してフレイル予防や健康増進に関する知識の普及等を実施していきます。ハイリスクアプローチ※2では、案内文や勧奨方法等を工夫して参加者の増加を目指します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																
事業評価及び課題	ポピュレーションアプローチとして、いんざい健康ちょきん運動や依頼教育等にて、フレイル予防や健康増進に関する知識の普及および意識付けを図っています。令和6年度は全5圏域で実施しました。ハイリスクアプローチでは、フレイルや生活習慣病等の重症化リスクを有する高齢者に対し、保健指導を行っていますが、希望なしの人には支援ができていないことが課題です。																		
今後の取組	ポピュレーションアプローチでは、さまざまな通いの場を活用してフレイル予防や健康増進に関する知識の普及等を実施していきます。ハイリスクアプローチでは、より多くの基準該当者に参加してもらえよう案内文や勧奨方法等を工夫していきます。また行動変容につながる効果的な指導の実施を目指します。																		
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること																			
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																
	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">規模(量)</th> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	規模(量)				拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	<p>【施策の総合評価】</p> <p>評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」</p>	A
規模(量)																			
拡大	①	②	③																
維持	④	⑤	⑥																
縮小	⑦	⑧	⑨																

担当課 (担当部署名)		健康増進課	2-1-④
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
基本目標 (中項目)			
施策項目		施策の方向 2 - 1 健康づくりの推進	
施策・事業名		④糖尿病性腎症重症化予防事業	
施策の対象者		事業の対象者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	国・県が示す糖尿病性腎症重症化予防プログラムに倣い、糖尿病性腎症の発症、重症化リスクを有する者に対して、受診、継続受診を奨励し、適切かつ継続的な保健指導を行い、糖尿病性腎症の重症化を予防し、新規人工透析導入を抑制することで、医療費の適正化を図ります。	
	現状・課題	特定健康診査、39歳以下健康診査等受診者のうち、支援該当者に対し、医療機関と連携をしながら、治療中の人に対しても保健指導を実施しています。 75歳以上の後期高齢者では、前年度の健康診査等の結果より、支援該当者に対し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で、保健指導を実施しています。	
	今後の方向性	今後も、医療機関との良好な連携体制を維持しながら、事業を継続していきます。未受診または治療中断者の高リスク状態の人に対して、受診行動につながる動奨ができるように工夫していきます。	

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																										
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)																							
事業評価及び課題	特定健康診査、39歳以下健康診査等受診者のうち、支援該当者に対し、医療機関と連携をしながら、治療中の人に対しても保健指導を実施しました。医療機関と今後も連携をとれるよう努めていきます。 75歳以上の後期高齢者では、前年度の健康診査等の結果より支援該当者に対し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で保健指導を実施しています。																									
今後の取組	今後も医療機関との良好な連携体制を維持しながら事業を継続していきます。未受診または治療中断者の高リスク状態の人に対して、受診行動につながる動奨ができるように工夫していきます。																									
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由として考えられること																										
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">費用</th> <th>拡大</th> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </table>				規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		規模(量)																								
		拡大	維持	縮小																						
費用	拡大	①	②	③																						
	維持	④	⑤	⑥																						
	縮小	⑦	⑧	⑨																						

担当課（担当部署名）		健康増進課				2-1-⑤	
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現					
基本目標（中項目）							
施策項目		施策の方向 2 - 1 健康づくりの推進					
施策・事業名		⑤各種健（検）診と保健指導の実施					
施策の対象者		各事業の対象者					
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	生活習慣病の予防やがんの早期発見等を目的に、40～74歳の国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査や、75歳以上の方を対象とした後期高齢者健康診査、がん検診、骨粗しょう症健診、口腔疾患健診などの各種健（検）診を実施します。					
	現状・課題	各種健（検）診では、若年層の受診率が低い傾向にあるため、疾病や介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。					
	今後の方向性	各種健（検）診のうち若年層も対象であるものについては、若年層へのアプローチが課題であることから、各種健（検）診の周知を行います。					
指標及び実績値							
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
		▼選択入力					
		実績値					
		乖離率					
事業評価と今後の取組							
		令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題		各種健（検）診では、若年層の受診率が低い傾向にあることから、介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。					
今後の取組		各種健（検）診について、受診できない理由に「時間が無く受診できない」があるため、今後も医療機関との良好な連携体制を維持し、受診しやすい体制を構築していきます。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること							
施策・事業の方向性		⑤	▼選択入力	▼選択入力			
		規模（量）		【施策の総合評価】		A	
		拡大	維持	縮小	評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、		
費用	拡大	①	②	③	C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、		
	維持	④	⑤	⑥	休・廃止の検討」		
	縮小	⑦	⑧	⑨			

担当課（担当部署名）		生涯学習課	2-2-①			
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現				
基本目標（中項目）						
施策項目		施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進				
施策・事業名		①学習機会の提供				
施策の対象者		印西市民全員				
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	公民館・地域交流館及び図書館等の生涯学習施設では、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通して学習できる環境づくりを推進し、市民のニーズや対象世代に合わせた多様な学習機会を提供しています。さらに、図書館では、図書館資料を通して利用者が高齢者福祉や障がい者福祉について学ぶ機会への支援、図書館資料の郵送、宅配、対面朗読の制度等のサービスを実施しています。				
	現状・課題	生涯学習に対する市民のニーズが多様化する中、市民アカデミーや出前講座、公民館・地域交流館での主催事業など、多種多様な取り組みが求められております。 図書館においても高齢者の利用は増加傾向にあることから、継続した大活字本等該当年齢層を見込んだ資料の充実や電子図書の導入等非来館型のサービスの向上に努めていきます。				
	今後の方向性	市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供について、引き続き取り組んでいくとともに、高齢化社会に対応した事業の実施に努めます。また、図書を通じて高齢者福祉や、障がい者福祉について学ぶ機会の支援、図書サービスのさらなる周知に努めます。				
指標及び実績値						
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
出前講座利用申込数（回）		目標値	85	85		
		実績値	57	37		
		乖離率	-49.1%	-129.7%		
公民館等主催事業実施数（回）		目標値	70	75		
		実績値	77	68		
		乖離率	9.1%	-10.3%		
図書館個人貸出点数（点）		目標値	821000	821500		
		実績値	845338	822646		
		乖離率	2.9%	0.1%		

事業評価と今後の取組							
		令和6年度（2024年度）		令和7年度（2025年度）		令和8年度（2026年度）	
事業評価及び課題		出前講座について、例年通り広報やHP等で周知を行ったものの、令和5年度から申込数が減少した。 公民館等主催事業実施数については、本荘公民館の保全改修工事により休館としたことから、実績値は減少した。 図書館個人貸出点数については目標値以上の実績であった。					
今後の取組		市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供について、引き続き取り組んでいくとともに、高齢化社会に対応した事業の実施に努めます。また、図書を通じた高齢者福祉や障がい者福祉について学ぶ機会の支援、図書サービスのさらなる周知に努めます。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること		コロナ禍以後、自治会・団体等の集まる機会が減少していることが要因としてあげられることから、目標値の修正も必要と考える。					
施策・事業の方向性		②		②		②	
		規模(量)		【施策の総合評価】		A	
		拡大 維持 縮小		評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」			
費用	拡大	①	②	③			
	維持	④	⑤	⑥			
	縮小	⑦	⑧	⑨			

担当課（担当部署名）		スポーツ振興課	2-2-②
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
基本目標（中項目）			
施策項目		施策の方向 2-2 生きがいづくりと社会参加の推進	
施策・事業名		②生涯スポーツの充実	
施策の対象者		市内在住・在勤・在学の小学生以上の方	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者の健康維持には、適度な運動（スポーツ）も必要なことから、楽しみながらできるニュースポーツ等の普及に努める。	
	現状・課題	高齢者の健康維持を図るため、取り組みやすいニュースポーツの紹介と普及に努めるとともにニュースポーツ教室の開催について、引き続きPRを行う必要がある。	
	今後の方向性	高齢者の健康維持を図るため、取り組みやすいニュースポーツの紹介と普及に努めるとともにニュースポーツ教室の開催について、引き続きPRを行う必要がある。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ニュースポーツ教室実施回数（回）	▼選択入力	2	9	9	9
	実績値	8	9		
	乖離率	75.0%	0.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組				
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	
事業評価及び課題	令和6年度は9回開催し、誰でも楽しめるニュースポーツ等の普及を図ることができた。高齢者の健康維持を図るため、ニュースポーツ教室を開催し、取り組みやすいニュースポーツの紹介と普及に努めた。また、ニュースポーツ教室の開催について、引き続きPRを行う必要がある。			
今後の取組	地域団体やサークル等に対して要望に応じた指導者の派遣やニュースポーツ教室の開催の周知に努める。			
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること				
施策・事業の方向性	⑤	⑤	⑤	
費用	規模（量）			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」
	拡大	維持	縮小	
	①	②	③	
	④	⑤	⑥	
	⑦	⑧	⑨	A

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課	2-2-③
基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現		
施策項目	施策の方向 2-2 生きがいづくりと社会参加の推進		
施策・事業名	③就労機会の提供		
施策の対象者	シルバー人材センター		
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	<p>高齢者の生きがいのある自立した生活を支援するため、高齢者就労支援センターを設置し、就労に必要な技能の習得、就労相談等を行っています。</p> <p>また、シルバー人材センターを支援して、高齢者の就労に向けた各種講習会を実施し、実際の就労にも繋げています。</p> <p>高齢者が希望する就労機会の提供を効率的に行うことで、高齢者の生きがいの充実、社会参加が促進され、地域福祉の増進を図ることができます。</p>	
	現状・課題	<p>シルバー人材センターに対する市民の認知度が広まりつつあります。地域社会からの期待に応えるべく継続的に発展していくため、「登録会員拡大」と「就労先開拓」の2本柱をさらに推進し、事業の拡大を図ります。</p>	
	今後の方向性	<p>印西市高齢者就労支援センターの移転により、多様な講習会を実施することが可能となったことから、就労に直結する技能系講習会だけでなく、教養・文化に関する講習会も開催し、生きがいづくりなどを通して、就労につなげていきます。</p>	

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
登録会員数 (人)	見込み	460	500	520	540
	実績値	449	450		
	乖離率	-2.4%	-11.1%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)			
事業評価及び課題	<p>シルバー人材センターの登録会員拡大及び就業先開拓に必要な支援を継続する。印西市高齢者就労支援センターで各種講習会を実施し、就労を支援していく。</p>					
今後の取組	<p>印西市高齢者就労支援センターの移転により、多様な講習会を実施することが可能となったことから、就労に直結する講習会だけでなく、生きがいづくりなどを通して、就労につながる講習会も実施していく。</p>					
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由	<p>定年延長及び継続雇用制度により、就労を継続する人が増え、会員の高年齢化が進み、新規入会者とほぼ同程度の退会者がいる現状であるため。</p>					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、 B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A	
		拡大	維持			縮小
	拡大	①	②			③
	維持	④	⑤			⑥
縮小	⑦	⑧	⑨			

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	2-2-④
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2-2 生きがいづくりと社会参加の推進	
施策・事業名		④高齢者クラブの支援	
施策の対象者		高齢者クラブ	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	<p>高齢者の生きがいづくりと社会参加を目的に設立された団体に、補助金等の支援を行っています。</p> <p>高齢者クラブは、自らの老後を健全で豊かなものにするために、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、地域との関わりを深めるとともに、高齢者の交流活動の場として大きな役割を担っています。</p>	
	現状・課題	高齢者個人の活動の場が多様化したことにより、会員数が減少傾向にあります。	
	今後の方向性	新規の単位クラブ設立や加入促進のため、ホームページや広報誌などを積極的に活用し、引き続き支援していきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
登録会員数（人）	見込み	2000	1500	1500	1500
	実績値	1482	1380		
	乖離率	-35.0%	-8.7%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題	活動する場の多様化により、会員数が減少傾向にある。また、加入者の高齢化により、団体活動の運営の担い手が不足している。					
今後の取組	加入促進のため、ホームページや広報誌などを積極的に活用し、引き続き支援していく。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	就労やサークル活動など一人ひとりが自分らしく活躍する場の選択肢が多様化し、新たに参加する方が少ないことに加え、加入者の高齢化により、運営の担い手が不足しているため。					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	B	
	拡大	①	②			③
	維持	④	⑤			⑥
	縮小	⑦	⑧			⑨

担当課 (担当部署名)	高齢者福祉課	2-2-⑤
-------------	--------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目	施策の方向 2-2 生きがいづくりと社会参加の推進	
施策・事業名	⑤交流活動の充実	
施策の対象者	高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者の健康増進、教養の向上やレクリエーションのための場の提供を行います。
	現状・課題	高齢者が社会の一員として生きがいを持てるよう、社会参加や同世代・世代間の交流ができる場の提供や、各種事業の充実に努めていますが、事業によって参加者に差が生じてしまうため、より興味を感じてもらえる事業の企画が課題となっています。
	今後の方向性	老人福祉センター、老人憩いの家、草深ふれあい市民センター、牧の原地域交流センターや、市内の公民館、児童館等も含めた活動の場で、高齢者だけでなく、家族や子ども等、世代間の交流促進を図り、引き続き地域で共生できる社会を目指していきます。

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	見込み				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組						
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)			
事業評価及び課題	高齢者が社会の一員として生きがいを持てるよう、社会参加や同世代・世代間の交流ができる場の提供や、各種事業の充実に努めておりますが、事業によって参加者に差が生じてしまうため、より興味を感じてもらえる事業の企画が課題となっております。					
今後の取組	老人福祉センター、老人憩いの家、草深ふれあい市民センター、牧の原地域交流センターや、市内の公民館、児童館等も含めた活動の場で、高齢者だけでなく、家族や子ども等、世代間の交流促進を図り、引き続き地域で共生できる社会を目指していきます。					
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由						
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、 B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A	
	拡大	①	②			③
	維持	④	⑤			⑥
	縮小	⑦	⑧			⑨

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課	2-3-①
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		①緊急通報装置設置等サービス	
施策の対象者		ひとり暮らしの高齢者等	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯等に対し、緊急事態に備えた緊急通報装置又は緊急通報専用携帯電話端末を貸与し、受信センターが、24時間体制で相談や緊急事態発生等の通報を受信し対応するサービスを提供しています。	
	現状・課題	通報受信後に利用者の状況確認を行う協力員は、親族、民生委員、ケアマネジャー、友人等ですが、転居等があった場合の協力員を確保することが課題となっています。	
	今後の方向性	緊急通報装置設置等サービスは、24時間体制で対応しており、本人、家族等の不安解消にもつながるため、引き続き継続していきます。	

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規登録者数 (人)	目標値	35	35	35	35
	実績値	53	50		
	乖離率	34.0%	30.0%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																											
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)																								
事業評価及び課題	協力員については、親族、民生委員、ケアマネジャー、友人等に協力を得て対応しているが、協力員が転居等により協力できなくなった場合の代替りの協力員の確保が課題と考えている。																										
今後の取組	緊急通報装置設置等サービスは、24時間体制で対応しており、本人、家族等の不安解消にもつながるため、引き続き継続していく。																										
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由	ケアマネジャー等による対象者への周知により、新規登録者数の拡大が図られた。																										
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">費用</th> <th>拡大</th> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
		規模(量)																									
		拡大	維持	縮小																							
費用	拡大	①	②	③																							
	維持	④	⑤	⑥																							
	縮小	⑦	⑧	⑨																							

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	2-3-②
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		②紙おむつ給付サービス	
施策の対象者		要介護高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	要介護認定で「要介護2」、「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」のいずれかに認定され、常におむつを使用する必要のある在宅生活の要介護高齢者を対象に、紙おむつを給付するサービスを実施しています。	
	現状・課題	紙おむつ等につきましては、多種類の商品を設定し、利用しやすくなっています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者のニーズに合った内容を検討し、事業を行う必要があります。	
	今後の方向性	利用者のニーズに合った提供種類等の検討を行いながら、事業の推進を図ります。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
登録者数 （人）	目標値	600	1080	1180	1290
	実績値	897	773		
	乖離率	33.1%	-39.7%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	要介護者の負担軽減及び福祉の増進を図っていく。				
今後の取組	利用者のニーズに合った種類等の検討を行いながら事業の推進を図る。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	入院及び施設入所等により給付の必要がなくなった方の廃止手続を促進し、給付台帳の精査を行ったため、実績値が減少したものの、実際に給付した数量は増加している。				
施策・事業の方向性	②	▼選択入力	▼選択入力		
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	拡大	維持	縮小		
	①	②	③		
	④	⑤	⑥		
維持	⑦	⑧	⑨		
縮小	⑩	⑪	⑫		

担当課 (担当部署名)		高齢者福祉課、障がい福祉課	2-3-③
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		③配食サービス	
施策の対象者		調理が困難な高齢者及び障がいのある人	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	身体的、環境的な理由から調理が困難なため、在宅での生活に支障のある、おおむね65歳以上の高齢者や障がいのある人を対象とし、安否確認を兼ねて夕食を自宅に届けるサービスを実施しています。	
	現状・課題	身体的、環境的な理由から調理が困難で、在宅での生活に支障のある高齢者や障がいのある人が栄養バランスの良い食事をとることができるようサービスを実施しています。また、配達は原則手渡しで安否確認をしています。 新規登録者数が増加していないことから、利用可能な方への制度の周知をさらに図る必要があります。	
	今後の方向性	引き続き利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、継続していきます。	

指標及び実績値					
指標名 (単位)	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規登録者数 (人)	目標値	55	50	50	50
	実績値	60	43		
	乖離率	8.3%	-16.3%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																									
	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)																						
事業評価及び課題	身体的、環境的な理由から調理が困難で、在宅での生活に支障のある高齢者や障がいのある人が栄養バランスの良い食事をとることができるようサービスを実施していく。また、配達は原則手渡しで安否確認をしていく。																								
今後の取組	引き続き利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、継続していきます。																								
目標 (推計) と実績の差が大きかった理由																									
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">規模(量)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>維持</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	維持	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
規模(量)																									
	拡大	維持	縮小																						
費用	維持	①	②	③																					
	維持	④	⑤	⑥																					
	縮小	⑦	⑧	⑨																					

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課、障がい福祉課	2-3-④
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		④福祉カー貸付	
施策の対象者		高齢者又は障がいのある人やその介助者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	高齢者又は障がいのある人やその家族に、車いす・ストレッチャー対応のリフト付きワゴン車を貸出するサービスを提供しています。	
	現状・課題	福祉カーは、大きな車体と老朽化による故障のリスクにより利用者の固定化等サービスの低下となっています。	
	今後の方向性	利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、今後の事業規模を含めた見直しを図っていきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用回数（回）	目標値	60	40	40	40
	実績値	2	11		
	乖離率	-2900.0%	-263.6%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																									
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																						
事業評価及び課題	福祉カーは、大きな車体と老朽化による故障のリスクにより利用者の固定化等サービスの低下となっていたが、車両の入替により、利便性の向上を図り、利用の拡大が見込まれる。																								
今後の取組	利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、今後の事業規模を含めた見直しを図っていく。																								
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	車両の故障により貸出を中止しており、令和6年2月に貸出を再開し、令和6年10月中旬より車両の入替に伴い、再度貸出を中止したことによる。																								
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>拡大</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)			拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	規模(量)																								
	拡大	維持	縮小																						
費用	拡大	①	②	③																					
	維持	④	⑤	⑥																					
	縮小	⑦	⑧	⑨																					

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課、障がい福祉課	2-3-⑤
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		⑤外出支援サービス	
施策の対象者		要支援・要介護認定者及び障がいのある人	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	医療機関への通院、公共施設の利用等のために、介助なしで公共交通機関（電車・バス・タクシー）を利用することが困難な65歳以上の要支援・要介護認定者や障がいのある人に対し、送迎サービスを提供しています。	
	現状・課題	利用者の申し込みに対し、利用調整に時間を要する状況があります。	
	今後の方向性	利用者の利便性の向上を図るため、運転ボランティアの充実に努め事業の推進を図ります。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用件数（件）	目標値	400	600	600	600
	実績値	532	406		
	乖離率	24.8%	-47.8%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																												
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																									
事業評価及び課題	利用目的を医療機関への通院及び公共施設の利用としていることから買い物など別の目的での利用が困難であるため、利用目的が限定的である。																											
今後の取組	利用者の利便性を図るため、事業内容等を検討していく必要がある。																											
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																												
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">費用</th> <th>拡大</th> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>					規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	B
		規模(量)																										
		拡大	維持	縮小																								
費用	拡大	①	②	③																								
	維持	④	⑤	⑥																								
	縮小	⑦	⑧	⑨																								

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課、障がい福祉課	2-3-⑥
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実	
施策・事業名		⑥福祉タクシー	
施策の対象者		要介護認定を受けた高齢者及び障がいのある人	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	要介護1以上の要介護認定者や障がいのある人を対象に、福祉タクシー利用券を交付し、乗車料金の一部を助成しています。	
	現状・課題	タクシーを利用する場合に料金の一部を助成することにより、タクシー利用を容易にし、社会生活の範囲を広め、福祉の増進を図っています。	
	今後の方向性	利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し継続します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用回数（回）	目標値	6,000	8,400	9,200	10,100
	実績値	7,260	7,731		
	乖離率	17.4%	-8.7%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																			
事業評価及び課題	タクシーを利用する場合に料金の一部を助成することにより、タクシーの利用を容易にし社会生活の範囲を広め、福祉の増進を図っていく。																					
今後の取組	利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、継続していく。																					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																						
施策・事業の方向性	②	▼選択入力	▼選択入力																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)			拡大	維持	縮小	費用	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	B
	規模(量)																					
	拡大	維持	縮小																			
費用	①	②	③																			
	④	⑤	⑥																			
	⑦	⑧	⑨																			

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課		2-3-⑦		
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現				
施策項目		施策の方向 2 - 3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実				
施策・事業名		⑦低所得利用者負担軽減対策事業				
施策の対象者		低所得の被保険者であって、生計が困難であると認めたもの				
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	社会福祉法人等が、介護サービスにおける利用者負担額の一部を負担することにより、低所得で、特に生計が困難であると市が認めた被保険者の負担軽減を図る事業です。事業実施による社会福祉法人等の負担については、市においてその一部を補助します。				
	現状・課題	利用者が1名と少なく、第8期計画期間中には、実績のない年度もあります。制度の周知が十分ではないと思われるため、制度の周知を図る必要があります。				
	今後の方向性	市民に対し制度の周知を図るとともに、減免実施法人の数を増やせるよう、市内の社会福祉法人に働きかけていきます。				
指標及び実績値						
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
申請者数		目標値		5	10	15
		実績値	2	3		
		乖離率		-66.7%		
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				
事業評価と今後の取組						
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
事業評価及び課題	令和6年度については、市の広報紙に類似制度（負担限度額認定制度）とともに掲載を行い、周知を行ったことにより、前年度と比較した申請者数は増加している。					
今後の取組	必要な方が適切に制度の恩恵を受けることができるよう、対象となる社会福祉法人等やケアマネジャーに対しても必要な制度の周知を図っていく。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	実績には反映されていないが、問い合わせは増加しており、必要な周知は図られたものと考えている。					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力			
	規程(量)		【施策の総合評価】		A	
	拡大	維持	縮小	評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」		
費用	①	②	③			
	④	⑤	⑥			
	⑦	⑧	⑨			

担当課（担当部署名）		社会福祉課・高齢者福祉課・障がい福祉課・健康増進課・子育て支援課・市民活動推進課・防災課	2-4-①
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
基本目標（中項目）			
施策項目		施策の方向 2 - 4 安心・安全なまちづくり	
施策・事業名		①避難行動要支援者避難支援	
施策の対象者		避難行動要支援者及び避難支援関係者	
9 期 計 画 掲 載 内	施策概要または事業の概要	「印西市避難行動要支援者避難支援計画」に基づいて避難行動要支援者名簿を作成し、平常時における見守りや災害時における安否確認・避難支援に活用するため、避難支援等関係者に名簿情報を提供します。また、避難支援等関係者による個別計画の作成などにより、災害発生時における避難行動要支援者の避難支援体制の構築を図ります。	
	現状・課題	町内会等や民生委員における避難行動要支援者名簿の受領団体数や、避難行動要支援者の個別計画作成者数が伸び悩んでいることから、制度のさらなる周知が必要です。	
	今後の方向性	印西市避難行動要支援者避難支援計画に基づき、作成した避難行動要支援者名簿を市の関係部署、地域支援組織に提供し、避難行動要支援者の避難支援等の体制の強化を図ります。	

指標及び実績値						
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
避難行動要支援者同意者数		▼選択入力	2700	2900	3100	3200
		実績値	2412	2609		
		乖離率	-11.9%	-11.2%		
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				
		▼選択入力				
		実績値				
		乖離率				

事業評価と今後の取組																					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																		
事業評価及び課題	令和2（2020）年4月に策定した「印西市避難行動要支援者避難支援計画」に基づき、「避難行動要支援者対象者名簿」及び「避難行動要支援者同意者名簿」を作成し、名簿受領兼誓約書を提出した団体等に同意者名簿を提出していますが、今後、誓約書提出団体の拡充や個別計画作成への支援といった避難行動要支援者への支援体制の確立に向けた取り組みを継続的に行う必要があります。 また、避難支援等関係者がいない地域への対応についても課題があります。避難行動要支援者の個別計画作成者数が年々増加しておりますが、未だ少ない状況です。高齢化等により、地域における避難支援等関係者の確保が厳しい状況です。																				
今後の取組	印西市避難行動要支援者支援計画に基づき、福祉部局で作成した避難行動要支援者名簿を関係部署へ共有するなど、他部署との関わりを持つことで、避難行動要支援者の避難支援等の体制の強化を図ります。																				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること																					
施策・事業の方向性	⑤																				
	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">規模(量)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>拡大</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> </table>		規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	維持	④	⑤	縮小	⑦	⑧	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」
規模(量)																					
	拡大	維持	縮小																		
費用	拡大	①	②																		
	維持	④	⑤																		
	縮小	⑦	⑧																		
			B																		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課・障がい福祉課	2-4-②
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 4 安心・安全なまちづくり	
施策・事業名		②救急医療情報キット配布事業	
施策の対象者		ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人等	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者や障がいのある人等に、かかりつけ医療機関等救急時に必要な情報を保管する、救急医療情報キットを配布し、迅速な救急活動に役立てています。	
	現状・課題	利用者の日常生活に必要なものではないが、緊急時の対策となる意識を持っていただくことが課題です。 また、事業が十分認知されているとは言えない状況です。	
	今後の方向性	民生委員や包括支援センター、ケアマネジャー等と連携し、対象者へ活動を促すとともに、広報紙等により周知します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規配布者数 （人）	目標値	100	200	200	200
	実績値	265	369		
	乖離率	62.3%	45.8%		
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	利用者の日常生活に必要なものではないが、緊急時の対策となる意識を持っていただくことが課題と考えている。				
今後の取組	引き続き、民生委員や包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を図り、周知していく。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由	民生委員や包括支援センターと連携を図り、普及に努めたため。				
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力		
	規模(量)		【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A	
	拡大	維持			縮小
費用	①	②			③
	④	⑤			⑥
	⑦	⑧	⑨		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	2-4-③
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2-4 安心・安全なまちづくり	
施策・事業名		③緊急情報等の提供に関する高齢者等地域見守り支援	
施策の対象者		高齢者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者等の緊急を要する異変等を迅速に発見し、孤立死の防止等につなげていくため、民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、高齢者クラブ、町内会等、新聞販売店ほかの事業者等と幅広く連携して、迅速な対応が取れる環境づくりを行います。	
	現状・課題	コロナ禍のため会議等が開催されず、周知できる機会がなかったことにより、新規協力事業者と覚書を締結することが多くはないことが課題です。	
	今後の方向性	引き続き、広報紙やホームページで周知を図り、協力事業所と協力体制を築きます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																									
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																						
事業評価及び課題	広報いんざいにて周知したものの、新規協力事業者と覚書を締結には至らなかった。																								
今後の取組	引き続き広報いんざい等で新規協力事業者の募集を図っていく。また、協力事業者との連携強化の為、定期的な連絡会を開催する。																								
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																									
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>拡大</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>				規模(量)			拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	規模(量)																								
	拡大	維持	縮小																						
費用	拡大	①	②	③																					
	維持	④	⑤	⑥																					
	縮小	⑦	⑧	⑨																					

担当課（担当部署名）		社会福祉課		2-4-④		
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現				
基本目標（中項目）						
施策項目		施策の方向 2-4 安心・安全なまちづくり				
施策・事業名		④民生委員による見守り活動				
施策の対象者		高齢者世帯等				
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	民生委員は日ごろから、訪問や声かけなど地域の見守り活動を行い、地域と行政の橋渡しの役割を担っています。また、ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯を把握し、必要に応じ調査を行っています。				
	現状・課題	欠員地区の民生委員の確保については、自治会や単位民児協から候補者の推薦をいただき、候補者に対し民生委員活動についての説明を行っています。ただ、町内会等がない地区も増加しているため、候補者の選出が困難です。見守り世帯数の増加問題もあり、民生委員の負担軽減策を検討する必要があります。				
	今後の方向性	欠員地区の民生委員の確保に努め、活動しやすい環境づくり等について検討します。				
指標及び実績値						
指標名（単位）		項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		▼選択入力 実績値				
		乖離率				
		▼選択入力 実績値				
		乖離率				
		▼選択入力 実績値				
		乖離率				
事業評価と今後の取組						
		令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	必要に応じ主に高齢者世帯等の訪問活動や地区住民からの相談に応じています。また、地区住民の高齢化、働き世代の増加等により後任民生委員が不足しており、民生委員の欠員地区も増加傾向にあります。欠員地区の民生委員の確保については、自治会や単位民児協から候補者の推薦をいただき、候補者に対し民生委員活動についての説明を行っていますが、町内会等がない地区の増加や高齢化により、候補者の選出が困難です。民生委員の負担軽減のため、令和6年4月に民生委員協力員制度を導入しました。					
今後の取組	民生委員と連携を図り、欠員地区の民生委員の確保に努め、活動しやすい環境づくりを検討します。					
目標（推計）と実績の差が大きかった理由として考えられること						
施策・事業の方向性	⑤		▼選択入力	▼選択入力		
		規模(量)		【施策の総合評価】		
		拡大	維持	評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」		
費用	拡大	①	②	A		
	維持	④	⑤			
	縮小	⑦	⑧			

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	2-4-⑤
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2-4 安心・安全なまちづくり	
施策・事業名		⑤ SOS ネットワーク	
施策の対象者		高齢者、関係機関	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	行方不明者の発見のため、FAXにより関係機関や協力事業所へ情報を提供し、早期発見・保護へとつなげています。	
	現状・課題	現在、FAXにより情報を通知しています。今後は、情報伝達向上のため協力事業者と情報提供方法の検討を必要とします。	
	今後の方向性	情報の通知方法を協力事業者と検討を行い事業を継続します。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組					
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
事業評価及び課題	現在FAXにより情報を通知しているが協力事業者と通知方法の検討を要する。				
今後の取組	情報の通知方法を協力事業者と検討を行い事業を継続する。				
目標（推計）と実績の差が大きかった理由					
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力		
費用	規模(量)			【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	拡大	維持	縮小		
	①	②	③		
	④	⑤	⑥		

担当課（担当部署名）		高齢者福祉課	2-4-⑥
基本目標		高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現	
施策項目		施策の方向 2 - 4 安心・安全なまちづくり	
施策・事業名		⑥高齢者虐待防止ネットワークと高齢者虐待への対応	
施策の対象者		市民・関係者	
第9期計画掲載内容	施策概要または事業の概要	関係機関とのネットワークを構築し、高齢者虐待の防止のための啓発事業、虐待の早期発見、早期対応に取り組んでいます。高齢者虐待防止のための取り組みについて話し合うとともに、介護サービス事業者等を対象に、虐待防止に向けた研修会等も開催しています。	
	現状・課題	高齢者虐待防止法が対象としているのは、「養護者」による虐待ですが、「養護者」に該当しない者からの虐待が増えているため、取り扱いに準じた対応やDV防止法の所管課に繋いでいくなどの対応が必要です。 虐待等の権利侵害防止の重要性とともに、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム等についても、虐待防止対策を推進することが必要となっています。また、介護現場の安全性の確保及びリスクマネジメントの推進を進めることも重要です。さらに、介護サービス事業所等の経営情報を収集・把握することの重要性については、都道府県と連携しながら、実施が必要です。	
	今後の方向性	高齢者虐待防止法に基づき、高齢者の権利利益の擁護に資することを目的として、高齢者虐待防止のための周知や関係機関との連携協力体制の構築、関係機関職員への研修等を促していきます。	

指標及び実績値					
指標名（単位）	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				
	▼選択入力				
	実績値				
	乖離率				

事業評価と今後の取組																							
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）																				
事業評価及び課題	関係機関と連携して高齢者虐待への早期発見、早期対応を行った。介護サービス事業者向けに高齢者虐待防止研修会を開催して知識や理解の向上に努めた。																						
今後の取組	引き続き、高齢者虐待防止のための周知や関係機関との連携協力体制の構築、関係機関職員への研修等を行っていく。																						
目標（推計）と実績の差が大きかった理由																							
施策・事業の方向性	⑤	▼選択入力	▼選択入力																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">規模(量)</th> </tr> <tr> <th>拡大</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常用</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>			規模(量)			拡大	維持	縮小	常用	①	②	③		④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	【施策の総合評価】 評価点「A：計画どおりに事業を進めることが適当、B：事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C：事業規模・内容の見直しの検討、D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」	A
	規模(量)																						
	拡大	維持	縮小																				
常用	①	②	③																				
	④	⑤	⑥																				
	⑦	⑧	⑨																				